

1. 実況上の着目点

① 500hPa 5820m 付近のトラフに対応して、西日本を東進する低気圧から、温暖前線が東日本の太平洋側にのび、寒冷前線が南西諸島にのびている。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、西日本では、非常に激しい雨を解析、昼頃愛媛県では猛烈な雨が降り記録的短時間大雨情報を発表。また、メソサイクロンを多数検出して、四国～近畿～東海地方で竜巻注意情報を発表中。

② ①の低気圧や前線の近傍では気圧の傾きが大きくなり、南西諸島～東日本でやや強い風や強い風が吹き、西日本では非常に強い風が吹いて、波が高くなり、しけている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 2日は、1項①のトラフと対応する低気圧が、東日本の太平洋側を東進し関東の東に進んで、前線は日本の南に進む。3日は、1項①のトラフは日本のはるか東に進み、朝までに関東の東の低気圧は不明瞭になり、日本の東に発生する別の低気圧が日本のはるか東に進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。西～東日本では2日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒し、西日本では2日は、東日本では3日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。

② 2日は2項①の低気圧や前線近傍で、3日は中国東北区から北日本に移動する高気圧と低気圧や前線の間で、気圧の傾きが大きくなる。全国的にやや強い風や強い風が吹いて、波が高くなりしける所がある。4日は高気圧が日本のはるか東に移動。高気圧南縁を回る吹送・吹続の長い東寄りの風の影響で、東～西日本の太平洋側と南西諸島ではうねりを伴い波が高くなる所がある。うねりを伴う高波に注意。

③ 4日は、500hPa 5520m 付近のトラフに対応して、低気圧が前線を伴って日本海北部からオホーツク海に進み、前線が北日本にのびる。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる。また、低気圧や前線近傍では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くなる所がある。北日本では4日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。②波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国・九州北部・九州南部・奄美4、東北・中国・沖縄3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。